

申込書記入例(表面)

- 1 本制度は給付ではなく貸付です。ご家族の方や担当のケースワーカーとよく相談のうえで申請するか決定してください。
- 2 本申込書及び提出書類等に不備や記入漏れ等がある場合は、審査を行うことができませんのでご注意ください。
- 3 必ず黒のボールペンを使用し、自筆で丁寧に記入してください。

この申込書は 個人 を連帯保証人にする場合に使用します

東京都社会福祉協議会 介護福祉士等修学資金貸付申込書

個人保証

修学生 番号 (東京都指定)				(生活保護世帯の高校生用)
養成施設	〇〇〇〇福祉専門学校	学科・課程	介護福祉科	
入学年月	20〇〇年〇月入学(〇年在学中)	卒業年月(予定)	20_〇〇年	

住民票の記載通りに記入してください。
例) 通常使用している表記方法が漢字である場合も、住民票に記載の氏名がアルファベットの場合はアルファベットでご記入ください。

生活費加算を希望する場合は☑してください。

☑ 生活費加算申込者

住所は住民票に記載されているとおりに記入してください。
養成校入学のため転居する場合、転居後の住所を届け出る必要があります。

フリガナ	トウキョウ タロウ		
氏名	東京 太郎		
住所	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇町1-2-3 〇〇〇マンション〇〇〇号室		
(自宅)	〇〇 (〇〇〇〇)〇〇〇〇	携帯電話	〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇

生年月日	(西暦) 〇〇〇〇年 (和暦) ☑昭和 ☐平成〇〇年	西暦と和暦どちらも記載	〇月 〇日 (〇〇歳)
フリガナ	ニホン マナブ		
氏名	日本 学		
住所	〒123-4567 東京都〇〇区〇〇町7-8-9 〇〇〇マンション〇〇〇号室		
電話(自宅)	〇〇 (〇〇〇〇)〇〇〇〇	携帯電話	〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇
生年月日	(西暦) 〇〇〇〇年 (和暦) ☑昭和 ☐平成〇〇年	西暦と和暦どちらも記載	〇月 〇日 (〇〇歳)
本人との関係	〇〇	都内居住年数	〇〇年
勤務先	(名称) 株式会社〇〇〇 (電話) 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 (住所) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇市〇〇町6-7-8		
職業	会社員	前年の年収	〇〇〇万円

「年収」は総支給額の金額を記入してください。収入が基準以下の方は連帯保証人になれません。また、申込者とは独立した生計である必要があります。

申込者が未成年者の場合のみ記入します。父母が親権者の場合は、両者の住民票、収入証明を添付してください。

フリガナ	トウキョウ イチロウ		
氏名	東京 一郎		
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町1-2-3 〇〇〇マンション〇〇〇号室		
電話(自宅)	〇〇 (〇〇〇〇)〇〇〇〇	携帯電話	〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇
生年月日	(西暦) 〇〇〇〇年 (和暦) ☑昭和 ☐平成〇〇年	〇月 〇日 (〇〇歳)	
勤務先	(名称) 株式会社〇〇〇 (電話) 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 (住所) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇市〇〇町6-7-8		
職業	会社員	前年の年収	〇〇〇万円
フリガナ	トウキョウ ハナコ		
氏名	東京 花子		
住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇区〇〇町1-2-3 〇〇〇マンション〇〇〇号室		
電話(自宅)	〇〇 (〇〇〇〇)〇〇〇〇	携帯電話	〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇
生年月日	(西暦) 〇〇〇〇年 (和暦) ☑昭和 ☐平成〇〇年	〇月 〇日 (〇〇歳)	
勤務先	(名称) 株式会社〇〇〇 (電話) 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇 (住所) 〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都〇〇市〇〇町6-7-8		
職業	パート	前年の年収	〇〇〇万円

申込書記入例(裏面)

本制度は修学費用の貸付であることをふまえ、借入理由については、修学生本人が自身の言葉で具体的に記述してください。

【借入理由の記入例】

父母とも働いていますが、昨年父の会社が倒産し、現在は再就職しましたが収入が減り、母は病気のため働くことができません、私には来春高校に進学する弟もいるので、自分が養成校へ通うための学費を捻出することが難しい状況です。私は将来介護福祉士の資格を取得して、東京都内で福祉の施設で福祉の仕事に携わりたいと思っています。そのため介護福祉士修学資金の借入を希望します。

借入理由	氏名		続柄	年齢	職業・学校	同居・別居の別	前年の収入
	1	東京 太郎	本人	—	—	学生(〇〇高等学校)	—
2	東京 一郎	父			会社員(株式会社〇〇)	〇・別居	〇〇,〇〇〇円
3	東京 花子	母			無職	〇・別居	
	東京 二郎	弟			学生(〇〇中学校)	〇・別居	
						同居・別居	
						同居・別居	
						所得税額合計	〇〇,〇〇〇円

本貸付制度における「生計をなす家族」とは、「扶養者」と「その扶養者が扶養している家族」とします。

①源泉徴収票の場合、「源泉徴収額」欄の金額
②確定申告書の場合、第一表の「所得税及び復興特別所得額」欄の金額をご記入ください。

A 修学費用(見込)	修学期間	20〇〇年 〇〇月 ~ 20〇〇年 〇〇月 (24か月)	
	受験料	〇〇,〇〇〇円	施設費 円
	入学金 <small>(減免がある場合、減免後の金額)</small>	修学期間中(卒業)までに要する費用の内訳を記入してください。	
	授業料 <small>(減免がある場合、減免後の金額)</small>	〇,〇〇〇,〇〇〇円	その他(通学交通費等) 円
	教材費	円	円
		合計(A)	〇,〇〇〇,〇〇〇円

B 修学資金	借入希望期間	20〇〇年 〇〇月 ~ 20〇〇年 〇〇月 (〇か月)	※生活費加算申込者のみ記入		
	借入希望金額	月 額	〇〇,〇〇〇円(50,000円/月以内) ×〇か月	借入希望期間	20〇〇年 〇〇月 ~ 20〇〇年 〇〇月 (〇か月)
		入学準備金	〇〇,〇〇〇円(200,000円以内) *初回送金時交付	居住地	東京都 〇 〇 〇
		就職準備金	〇〇,〇〇〇円(200,000円以内) *最終回送金時交付	級地区分	1 級地の 1
		介護福祉士 国家試験受験対策費	〇〇,〇〇〇円(40,000円/年以内) ×〇年	月額加算額	〇〇,〇〇〇円 × 〇か月
合計(①)	〇,〇〇〇,〇〇〇円	合計(②)	〇〇〇,〇〇〇		
借入希望総額(①+②)		〇,〇〇〇,〇〇〇円(B)			

「申込みのしおり」の「生活費加算基準額一覧表」にて該当する級地区分を確認し、記入してください。

※別途、証明書類添付	名称	利用期間	金額	現在の状況
	<input type="checkbox"/>	生活福祉資金	20 年 月 ~ 20 年	総額 円
<input type="checkbox"/>	母子及び父子福祉資金	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
<input type="checkbox"/>	日本政策金融公庫	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
<input type="checkbox"/>	日本学生支援機構貸与型奨学金	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
<input type="checkbox"/>	日本学生支援機構給付型奨学金	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
<input type="checkbox"/>	授業料等減免制度	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
<input type="checkbox"/>	()	20 年 月 ~ 20 年	総額 円	<input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 利用中 <input type="checkbox"/> 返済中
借入総額			円(C)	
※上記奨学金等を利用する場合は、以下の書類が必要となります。 (1)「修学費用状況証明書」 (2)奨学金等の借入状況(期間・金額)がわかる書類 例)奨学生証				

該当する生活費加算基準額の1,000円未満を切捨てた金額を記入してください。

〇〇年 〇月 〇日

東京都社会福祉協議会会長 様

私は養成施設卒業後、東京都内で継続して返還免除対象業務に従事しようとする意思があるので、上記のとおり申込みます。

それぞれの方が自筆で署名し、押印してください(同一の印鑑は使用しない)。
シャチハタ印は使用しないこと。

本人 氏名 東京 太郎 (東京)

上記の申込みについて
親権者又は後見人 氏名 東京 一郎 (東京)
(自署)

親権者又は後見人 氏名 東京 花子 (東京)
(自署)

所定の「必要書類確認表」により、必要書類に不足がないか確認し、書類一式に添付して福祉事務所に提出してください。福祉事務所及び東社協は「必要書類確認表」により提出書類の確認をします。